

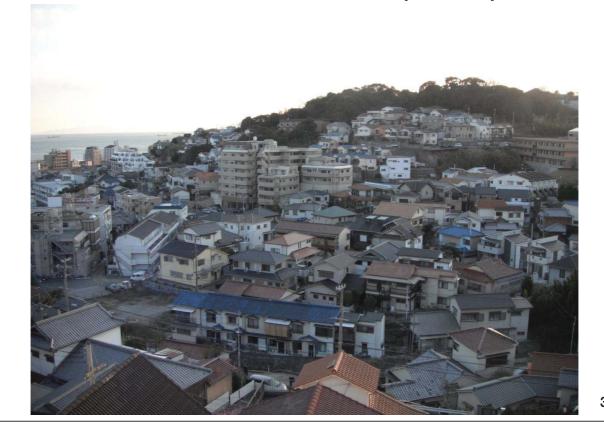
塩屋コミュニティバス しおかぜ

塩屋コミュニティバスを走らせる会 会長 原田幸男

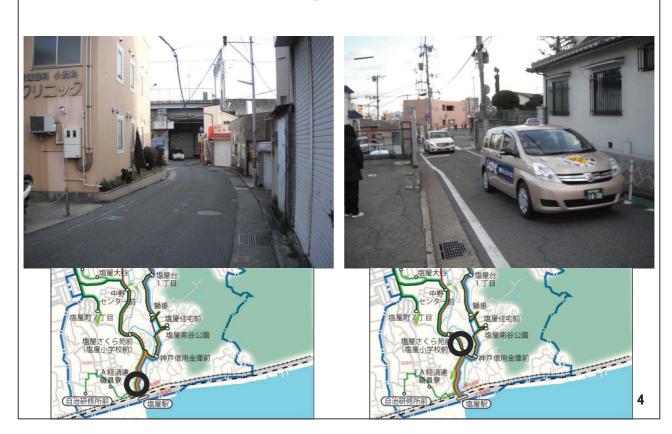
運行経路



塩屋の中心より南(西側)



西側道路



都市計画道路

現在の塩屋多井畑線の通学風景





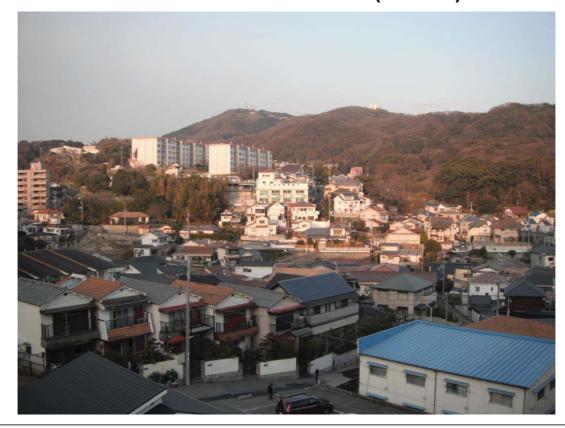








塩屋の中心より南(東側)







1)これまでの経緯

- 平成24年7月~まちづくり推進会の定例勉強会で検討開始。
- 平成26年9月に塩屋地区連絡協議会との連名で神戸市長宛に コミュニティバス導入の要望書提出。
- ・ 平成27年2月、主要5団体(塩屋まちづくり推進会・塩屋地区連絡協議会・塩屋婦人会・塩屋、塩屋北ふれあいのまちづくり協議会)を中心に「塩屋コミュニティバスを走らせる会」発足。
- ・4~5月に「コミュニティバス導入に向けたアンケート」実施。 ◎利用する人:66%、料金は300円が妥当との回答。
- ・9月に3社の事業者のプレゼンテーションを受け、事業者を決定。 ◎以降、地域と事業者でルート、ダイヤ、停留所等の運行計 画を検討。
- ・平成28年2月1日~ 1回目の試験運行開始

9

しおかぜ出発式





地域としての取り組み(1)

- 塩屋、塩屋北小学校区全世帯へしおかぜ便りの配布 (約8000世帯、各自治会長へ配布のお願い)
- 各自治会、商店会、まちづくり推進会掲示板への しおかぜ便りの掲示
- 各自治会、団体への協賛金のお願い(1口5千円)
- 各店舗、病院等へのしおかぜ便りへの広告料のお願い



- しおかぜ便りの発行費用を地域で確保
- 体験乗車キャンペーン (期間中、1回300円を200円に。差額を地域が補てん) 1回目 1月30日~2月5日 2回目 3月12日~18日(予定)

しおかぜ便りの作成、掲示、配布









広告掲載料



地域としての取り組み②

地域住民への利用説明会

利用促進へのグッズの制作 (停留所を繋いだすごろく)





13

課題

- 1日乗車目標100名のところ、現状平均50~60名程度
- 今は乗らないが将来乗るという人に対しての利用促進策
- 現状乗っている人から友達を誘って一緒に乗車する案
- 外部から塩屋に来られる方に対しての広報の仕方
- 4月以降も同状況が続くと、損失をどうするか?

(利用客からの意見)

- ・全ての停留所を回る1周50分は、時間がかかり過ぎる。 (利用時間帯を精査し、スキップ運行も必要?)
- ・朝の通勤時間帯、夜遅くまでの運行。
- ・現在、こども料金(小学生まで200円)を中学生までに。

15